

### 本時のねらい

・「呼びかけ」と「こたえ」の関係になるように、旋律を組み合わせていることができる。

### 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・「バーチャルピアノ」を活用することで、いろいろな音を試しながら旋律をつくること  
 ・個人で考えた旋律をオリジナル教材「リズムであそぼう」(Scratchで作成)を使って表現し共有する  
 ・いろいろな組み合わせを考  
 えることができる。

### 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・テレビ オリジナル教材「リズムであそぼう」(Scratchで作成)  
 ・『バーチャルピアノ・Musicca』<https://www.musicca.com/jp/piano>

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習を確認する。</li> <li>・旋律づくりのルールを確認する。                      →ルール「ドレミファソの中から三つの音を選ぶ」・「たん・たん・たん・うんのリズムでつくる」</li> <li>・しりとり遊びをする。                      →友だちの終わりの音を聴き取って、即興的につなげて旋律をつくる。</li> <li>○本時のめあてを確認する。                      おはなしするように、せんりつをつくってみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で作成した「リズムであそぼう」を全体で確認することによ                      って、本時の活動の見通しを立て                      る。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「呼びかけ」と「こたえ」の旋律をつくる。</li> <li>・1人で2小節の旋律をつくる。                      →おはなしするような旋律になるように組み合わせを考える。</li> <li>○つくった旋律を発表する。                      →考える時は、「バーチャルピアノ」、発表の時は、「リズムであそぼう」を使用。</li> <li>○グループに分かれてA(呼びかける)役とBとC(こたえる)役を決め、2小                      節の旋律をつくり、それらを組み合わせる。・・・A → B → A → C</li> <li>・どのような理由でその組み合わせにしたのか説明できるようにする。</li> <li>○グループごとに発表して、互いのよいところを認め合う。                      →発表する前に階名唱を全員にさせ、旋律の特徴に気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音を確認める「鍵盤」と、旋律を                      表現する「リズムであそぼう」の両                      方の役割をタブレットPC1台で                      行うことができる。</li> <li>・テレビに映して、全体で共有す                      る。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の活動で気付いたことを発表する。                      →友だちが「呼びかけ」と「こたえ」にどのような旋律をつくったのか価値づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで作成した「リズムであそ                      ぼう」を映しながら、児童の意見                      を全体で確認する。</li> </ul>

### 1人1台端末を活用した活動の様子



「バーチャルピアノ」で旋律をつくっ  
 ている場面



「リズムであそぼう」で音を確認している場面



グループで旋律を組み合わせている  
 場面

### 児童生徒の反応や変容

・鍵盤ハーモニカの代わりに用いた「バーチャルピアノ」と、発表時に自動演奏することができる「リズムであそぼう」を組み合わせることで、旋律づくりを行い  
 やすく、運指が苦手な児童も安心して取り組むことができた。

・グループで旋律の組み合わせを考える場面では、いろいろな旋律を入力しながら音を確認める姿が見られ、音に興味を持って取り組むことができた。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

今まで紙のワークシートに記入しながら行っていた旋律づくりをタブレットPC上で行うことで、音を確認めながら「思考」「メモ」「共有」を一度に行い、  
 試行錯誤する時間を十分に確保することができた。また同時に「記録」することにもなるので、音楽づくりの学習に大変効果的な活用方法であると感じ  
 た。